公共施設におけるキッチンカー等出店トライアル・サウンディング の検証結果及び実施期間の延長について

資産経営課

1 趣旨

本事業は、未利用となっている公共施設の空きスペースを活用したキッチンカー等の出店において、将来的な事業化や常設化、公民連携事業への発展の可否を見極めるため、令和８年４月１日から令和８年６月30日までの３か月の間、飯能市役所でのキッチンカー及びマルシェの実証実験を実施し、その結果を観光協会がとりまとめ、市が事業化の可能性について検証を行い、事業化の判断を行うものです。

2 実証実験の概要

⑴実施期間：令和８年４月１日から令和８年６月30日まで（3か月間）
⑵事業運営調整主体：一般社団法人奥むさし飯能観光協会
⑶実施主体：観光協会　マルシェ・キッチンカー部会
⑷使用料：実施期間中の行政財産使用料は免除とする。
※詳細は、公共施設におけるキッチンカー等出店トライアル・サウンディング実施要領のとおり。

3 実証実験報告に対する検証

報告書では、一定の成果が得られたことを評価する部分が見受けられたが、検証データが少ない中で、以下の点については課題があると確認された。

⑴出店場所

市役所正面で実証実験を行ったが、「いつどこで何を販売しているか分からない」といった意見が見られ、周知不足もあるが、利用者の動線や視認性として出店場所での影響がどの程度あるのか更に検討する必要がある。

⑵出店環境

屋外のため、雨天や暑さなどへの対応のほか、待機スペースや休憩スペースの有無が利用しやすさに影響するが、出店事業者が入れ替わり、天候も同じではないので、何がどこまで影響するのか更に検討する必要がある。

⑶利用者ニーズ

公共施設での販売に一定の利用ニーズが認められる一方、飽きがこないような商品構成や出店者の多様化への対応が課題として示され、出店日・時間帯、出店者、メニュー等を見直した場合に、利用者への影響がどの程度あるか更に検証する必要がある。

⑷出店料

出店者における一定の出店料負担の意向が確認された一方、出店者の出店回数や曜日による採算性にはバラツキがあり、利用者がいつでも利用できるような継続的な出店を考慮すると、出店料の水準や徴収方法を更に検討する必要がある。

4 事業化に向けての判断

本取組は、未利用スペースの有効活用を通じた市民サービスの向上と、行政負担を抑えた持続可能な公民連携事業の実現可能性を検証するものである。

今回の実証実験から公共施設におけるキッチンカー等の出店について、出店者の出店意向及び利用者の一定の需要が確認できたものの、継続的な運営を実施するためには、出店者にとっては事業の採算性が最も重要な要素となる。しかし、お祭りなどの人が多く集まるイベントとは違い、周知が難しい出店場所や環境による影響のほか、公共施設を利用する人のニーズがどのようなものなのかなど、様々な要因が考えられ、何がどの程度影響しているかは更なる検証が必要と思われる。

このため、現段階では事業の継続性が不透明であり、出店料を決定し、出店条件を整理することは難しく、事業化を決定することはできない。

5 今後の進め方

一般社団法人奥むさし飯能観光協会では、引き続き、事業化に向けて検討を続けていきたい旨の意向を確認できたことから、更に検証を続けるため、トライアル・サウンディングを延長して実施することとしたい。

実施に当たっては、残った課題を更に検証するため、出店場所や環境などの変更を行い、条件による影響を検証することとする。

検証については、これまでと同様に一般社団法人奥むさし飯能観光協会が報告書をとりまとめ、資産経営課においてその内容について検証を行い、事業化の可否を判断する。

6 トライアル・サウンディング（延長）実施概要

実施期間延長：（旧）令和８年６月30日まで
（新）令和９年３月31日まで